

自ら学ぶ生徒  
正しく行動する生徒  
健康でたくましい生徒



令和元年7月16日(火)発行

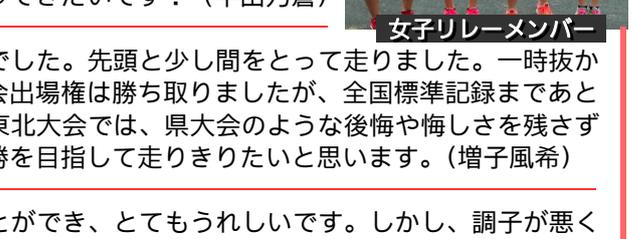
【発行責任者】郡山市立富田中学校長 熊坂 洋

# 手をたずさえて

## 4名が東北大会出場決定！入賞11種目 富中陸上部の頑張り光りました！

第62回福島県中学校体育大会  
兼第74回国民体育大会予選会  
7/3(水)～5(金)

7月3日(水)～5日(金)には第62回福島県中学校体育大会兼第74回国民体育大会予選会が福島市のとうほう・みんなのスタジアムで開催されました。県大会という大きな舞台で出場生徒達は心をひとつにして粘り強い「走・跳・投」を発揮してくれました。11種目で入賞を決め、うち4名が4位以内に入賞を果たし東北大会出場を決めました。昨年度の実績を上回る素晴らしい結果となりました。満足のいく結果を得た生徒、悔しさが残る結果となった生徒などそれぞれだと思いますが、結果は結果としてしっかりと受け止め、次に繋いでいくという姿勢が大切です。今回の大会で引退となった3年生、本当にご苦労さまでした。そして、上位大会や通信陸上に出場する生徒、駅伝部員として練習に参加する生徒、それぞれが置かれた場所で自分を磨き、さらに成長できるよう努力を積み重ねてほしいと思います。



### 入賞者

1年女子100m	平山乃蒼	第4位	13秒39	東北大会
2年男子100m	遠藤漣央	第7位	12秒12	
男子共通200m	根本寛大	第3位	23秒25	東北大会
女子共通200m	藤田奈々花	第5位	26秒82	
男子共通400m	飯 亨介	第3位	52秒72	東北大会
男子共通800m	増子風希	第2位	2分01秒26	東北大会
女子共通110mH	高橋優佳	第6位	16秒01	
女子共通走高跳	大橋七海	第7位	1 m40	
女子共通四種競技 (200m, 110mH, 走高跳, 砲丸投)	伊藤 杏	第6位	1926点	
男子共通4×100mR	第5位	45秒27	御代田友仁、大谷介人、根本寛大、飯 亨介	
女子共通4×100mR	第7位	51秒91	高橋彩葉、高橋優佳、藤田奈々花、伊藤 杏	

保護者の皆様にも温かい応援をいただきました。ありがとうございました。東北大会は8月5日(月)～7日(水)に県大会と同じ福島市の「とうほう・みんなのスタジアム」で開催されます。東北大会に出場する4名の生徒の抱負です。ご覧ください。

県大会では100mで13秒台を3回出すことができました。また、地区予選会でできなかったことを改善して走りました。決勝では、目標にしていた3位以内に入ることができず、とても悔しい思いをしました。そんな時、先輩は私に声をかけてくれました。その言葉を胸に東北大会では自分に悔いが残らないように精一杯頑張りたいです！(平山乃蒼)

僕は共通800mに出場しました。決勝は僕以外全員3年生でした。先頭と少し間をとって走りました。一時抜かされましたが、最後に抜かして2位になりました。東北大会出場権は勝ち取りましたが、全国標準記録まであと0.7秒でした。県大会は後悔や悔しさが残る大会でした。東北大会では、県大会のような後悔や悔しさを残さずに走りたいです。一日一日の練習を大切に、東北大会優勝を目指して走りきりたいと思います。(増子風希)

今回の県大会では、個人競技で初めて東北大会に進むことができ、とてもうれしいです。しかし、調子が悪くて全国標準記録どころか自己ベストすら出すことができず悔しい思いをしました。東北大会はもちろん、全中出場最後のチャンスの通信陸上でリベンジしたいと思います。(根本寛大)

今回の県大会では自分の全力を出すことができました。リレーでは残念な結果になってしまったけれど、400mでは東北大会出場が決定して良かったです。東北大会まであと少しの時間しかないので、一日一日を大切に練習を頑張っていきたいです。(飯 亨介)

# 1・2年生校外学習で充実した1日を過ごす!

7月9日(火)は1・2年生にとって、様々なことを学ぶことができた有意義な1日となりました。

## 1年郷土を学ぶ体験学習

2つのコースに分かれての実施でしたが、Aコース(5~8組)は大安場古墳、開成館。Bコース(1~4組)は、ふれあい科学館と美術館の見学でした。地元郡山の各施設でしたが、初めて訪れた生徒も多く、郷土郡山の良さを再発見することができました。

■ 僕はふれあい科学館と郡山市立美術館でいろいろなことを学びました。安積疎水について学びました。安積疎水は多くの人が長い年月をかけ苦勞してつくったそうです。僕はこれをすばらしいと思いました。また、美術館に展示されていたガラス工芸品は郡山の人が作ったそうです。個性的な模様でとてもきれいでした。僕は安積疎水やガラス工芸品のようにすばらしい功績や作品を未来に残していきたいなと思います。そして郡山に住んでいることに誇りをもっていこうと思いました。(1-2 岩月大翔)

■ 私達は郷土を学ぶ体験学習で大安場史跡公園と郡山市開成館に行ってきた。大安場では3800年前の縄文土器の拓本を作ったり、古墳から発見された物を見学したりしました。開成館では、明治時代の人々の住宅や官舎のつくり、安積開拓や安積疎水の歴史を学びました。ガイドさんの丁寧な説明のおかげでしっかり学ぶことが出来たと思います。今の郡山がある事を先人達に感謝だなと思いました。今回は実際に目で見て学び、知識を広げるといっても貴重な体験をさせて頂きました。この体験で郷土郡山についての関心を高め、知識を深めることが出来ました。学んだ事を生かし、これからも勉学に励みます。(1-6 手塚 陽)



## 2年仙台学習旅行

杜の都「仙台」における班別自主研修がメインでした。学年運営委員が中心となって、放課後や休み時間等を利用して準備を進めました。班別自主研修では、瑞鳳殿、仙台城、博物館、八木山動物園等の名所や施設の見学、仙台駅周辺の散策などを行いました。バスや地下鉄などの交通機関も利用しました。今回の学習旅行の経験を来年度の修学旅行にうまく繋げてほしいと思います。



■ S(最高の) E(笑顔で) N(仲間と学び) D(団結して) A(安全に) I(1日を楽しく過ごす) ...これをつなぐと「最高の笑顔で仲間と学び団結して安全に1日を楽しく過ごす」。これは仙台をローマ字にした「SENDAI」からできています。2学年の運営委員がよりよい旅行となるように何度も考えてたてました。私達の班は少し道に迷いながらも地図を見たり、人に道を尋ねたりと、何とか目的地にたどりつくことができました。他の班の人に話を聞いてみると、「大変だったけど楽しかった。」「大きなトラブルもなく楽しく仙台について学べたので良かった。」など、どの班も仲間と協力して活動することができたようです。今回の仙台学習旅行では、学年全体がスローガンにそって活動することができたと思います。仙台の歴史を学ぶのはもちろん、公共の場でのマナーや班の仲間と協力することの大切さを学ぶことができました。今回学んだことを十分に生かし、これからの学校生活をより良いものにしていこうと思います。(2-2 鈴木理瑚)

■ 僕は、この学習旅行をととても楽しみにしていました。僕たちの班は、博物館、仙台城跡を見学しました。予定していた時間よりも30分ほど早く始まり、時間が余ってしまうのではないかと心配していましたが、ほとんど計画通りに進めることができたのでよかったです。僕は、班長として班をしっかりまとめることができたし、楽しく旅行することができたのでよかったです。今回の学習旅行で学んだこと、体験したことを忘れずに今後の学校生活に生かしていきたいです。(2-4 高橋直生)

◎ 『今後の学校生活に生かす』という言葉がよく使われます。何をどのようにしていくのか、具体的な行動場面を思い描きながら、意識して生活してほしいと思います。

## えのき・けやき学級 会津若松学習旅行

えのき・けやき学級の1・2年生12名は会津若松への学習旅行を実施しました。移動手段は郡山富田駅より磐越西線の電車を使いました。鶴ヶ城、飯盛山を見学し、会津若松の歴史に触れることができました。赤べこバス(巡回型路線バス)に乗ったり、昼食では名物のソースかつ丼等を食べたりして、「会津」を満喫することができました。えのき・けやき学級の生徒達も笑顔いっぱいの楽しい1日を過ごすことができました。



鶴ヶ城をバックにしたえのき・けやきの生徒達

